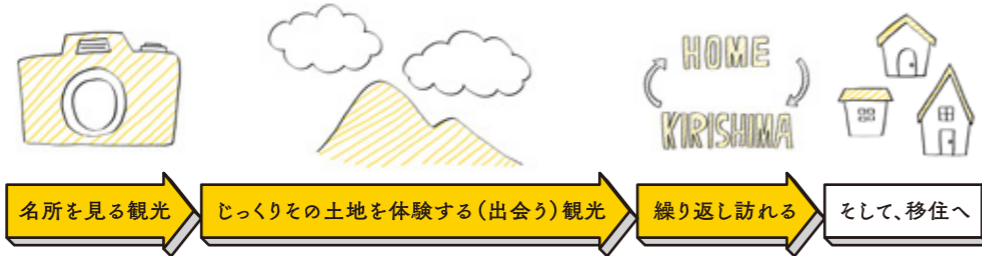


### 観光に関する課題の抽出

#### 霧島市の観光の課題は？

「暮らすように旅したい」「観光から旅へ」というような言葉に象徴されますが、旅行者の観光スタイルは、インターネットメディアの普及により、自宅にいながら世界各地の写真や動画を見られるようになった背景もあり、sight seeing(名所を見る観光)から、その場所に行かないと体験できない、その土地の暮らし・食・人を感じるsight feeling(感じる観光)へと徐々に変化しています。また、その土地で暮らす人との出会い等、旅でのディープな体験が繰り返しその場所に訪問する状況をつくり、移住に繋がる、という社会風景が日常化しています。



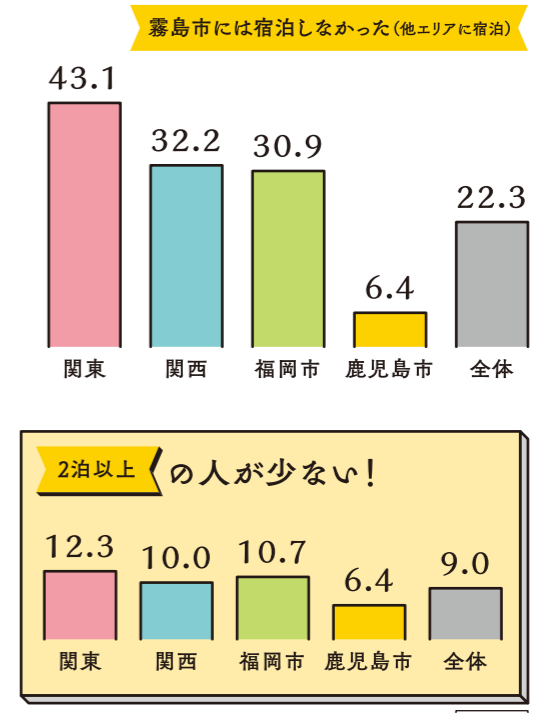
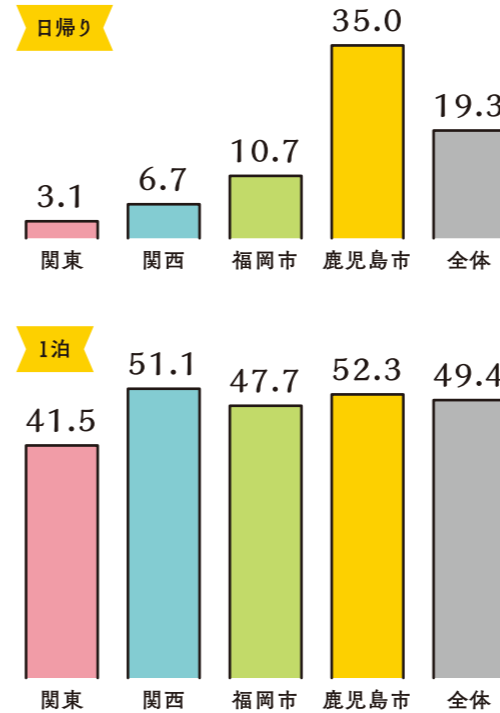
チャンス!です。

明治維新の志士である西郷隆盛や小松帯刀、坂本龍馬の長期休暇(湯治)や霧島高原地帯の別荘文化をあげるまでもないですが、歴史的に**長期滞在エリア**としてのポテンシャルを持つ霧島にとっては好ましい社会変化であると言えます。しかし、じっくりその土地を体験する旅が、2度3度と繰り返し訪れることに繋がるという事に反して、関東、関西、福岡等遠方からの霧島市宿泊実態としては、エリアを問わず「1泊」が4~5割を占め、2泊以上の人々が10~12%と極端に低い現状があります。



#### 霧島市宿泊実態

★ 関東(65人) ☆ 関西(90人) ☆ 福岡市(149人)  
 ☆ 鹿児島市(220人) ☆ 全体(524人) ※人数は宿泊経験者数



#### 課題 2泊以上の滞在型・散策型観光地へのシフト (=霧島には1泊のみ、もしくは宿泊せずの打破!)

#### 他に課題は？

そもそも、関東、関西では霧島市の認知は2~3割と低い状況にあります。

#### 霧島市認知の状況

	旅行や仕事で訪問したことがある	場所や特産品など含めてよく知っている	場所や特産品など含めてある程度知っている	場所や特産品などは知らないが名前は聞いたことがある	全く知らない
関東(600人)	10.8%	1.3%	13.2%	40.3%	34.3%
関西(600人)	15.0%	1.8%	12.7%	41.0%	29.5%
福岡市(400人)	37.3%	1.8%	21.0%	32.3%	7.8%
鹿児島市(400人)	55.0%	17.5%	22.3%	4.5%	0.8%
全体(2000人)	26.2%	4.8%	16.4%	31.8%	20.9%

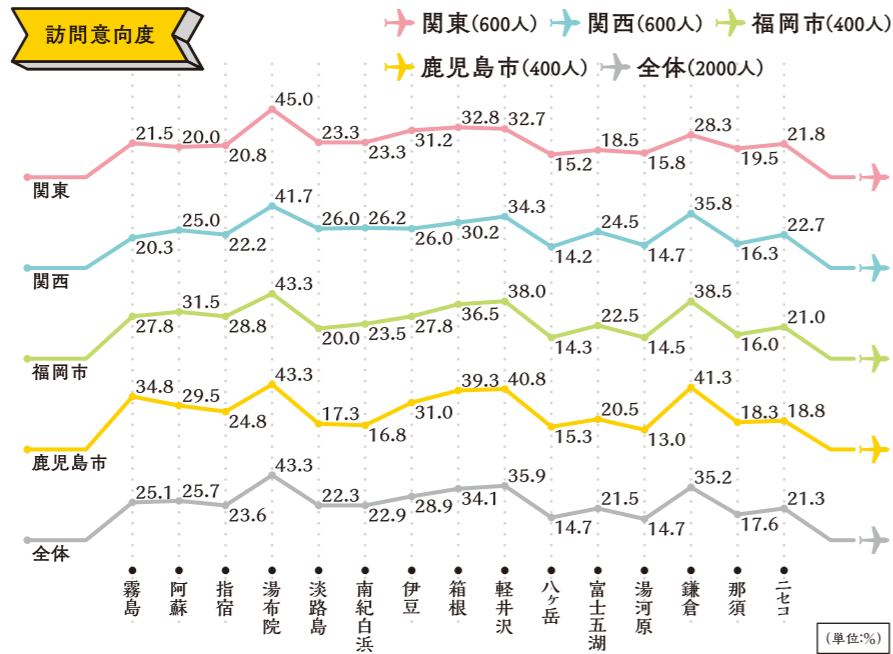
※関東・関西では2~3割の認知

※データは2016年12月関東・関西・福岡市・鹿児島市在住2000人インターネット調査より

## 観光に関する課題の抽出

### 他に課題は？

関東、関西での認知不足の影響もあると考えられますが、全国から任意にピックアップした15の観光地比較でも、同じ九州の湯布院がトップであるのに対し、霧島市の訪問意向度は相対的に低い状況です。



上のグラフは、関東、関西、福岡市、鹿児島市の人の「今後行ってみたい旅行先」を数値化したものです。霧島市は、鹿児島市、福岡市に暮らす人の来訪意向が相対的に高く、関東、関西は低いことが分かります。

※データは2016年12月関東・関西・福岡市・鹿児島市在住2000人インターネット調査より



ちなみに!

## 霧島市民が伝えたい霧島市の良さとは?

### 霧島市にもたくさん良いところありますよ!

※2016年12月霧島市民130人インターネット調査より

- 霧島市民の誇らしい部分を聞いてみました
- 高千穂峰を一望できるウォーキングコースが好きです
- 鮎が釣れる川があります
- 花見、海水浴、キャンプ、登山、屋外スケート、近場で完結
- 都会過ぎず、田舎過ぎず、住みやすい
- 温泉付きのマイホームが普通にあります
- 源泉かけ流しがスタンダードです
- やっぱり温泉です
- 家族風呂が充実
- 温泉があるので家にお風呂がなくても大丈夫
- やっぱり自然です
- 四季がしっかり感じられます
- 複雑な自然地形が生み出す、生物の多様性が凄いです
- 水道水が地下水です
- 食べ物が全部美味しい
- 食べ物がおいしい
- 水が美味しい
- 地産地消の野菜が美味しい
- コンパクトで住みやすい
- 生活する上でのインフラがコンパクトで便利
- 集落ごとの掃除や集まりごともあり、治安が良い
- 子ども達が素直で元気
- 人があたたかい
- みんな優しい
- お年寄りが元気
- 祭りの活気

このように霧島市民が外の人に伝えたい、誇れる、自慢したい特色はいろいろとありますが、「癒し」「食」「コンパクトさ」「人の優しさ」「アクティブ」の5つの要素に分けて、特に誇れるものは?と聞いたら「癒し」が断然の1位でした。

**1 癒し 53.8%**  
霧島山など大地の恵みがもたらす家族風呂などの温泉文化、優しく人を包み込む霧島神宮、霧島の森、マイナスイオンを浴びられる数多くの滝、高千穂峰からの雄大な風景が自慢です。

**2 食 26.2%**  
黒牛、黒豚しゃぶしゃぶ、鳥刺しテイクアウト文化、美味しい野菜、霧島山系の水を使用した各種焼酎や美味しい水、健康食品で有名な福山の黒酢が自慢です。

**3 コンパクトさ 8.5%**  
コンパクトなまちに子育て、教育、医療、福祉、ショッピングなどの施設が一通りそろって便利さ、空港が近く、日本各地へのアクセスも容易なのが自慢です。

**4 人の優しさ 7.7%**  
温暖な気候が育む優しい人柄、古くからの別荘地・温泉地であることからのおもてなし文化、地元のお祭りや交流を大切にする地元愛が自慢です。

**5 アクティブ 2.3%**  
高原散歩やハイキング、霧島山のトレッキング、バイクツーリングやサイクリング、天降川での川遊びなど海山川里での豊富なアクティビティ、生物多様性を楽しめるバードウォッチングや昆虫採集、植物採集などが自慢です。

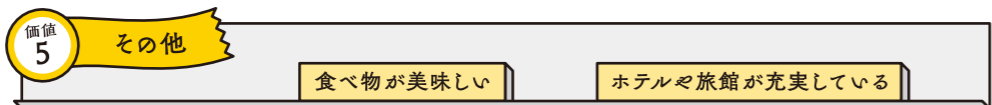
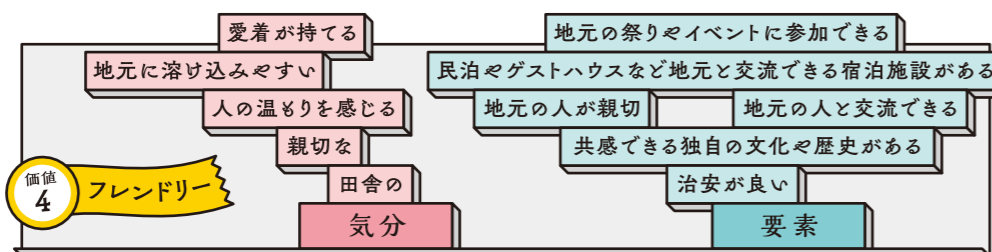
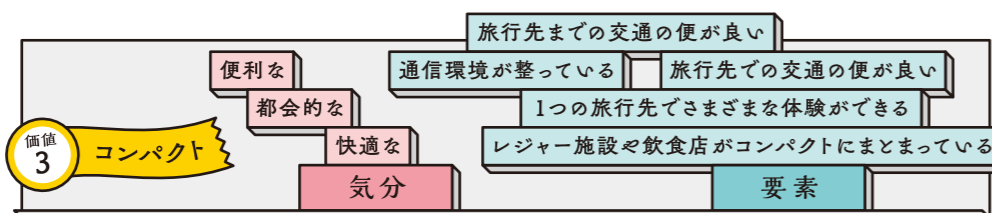
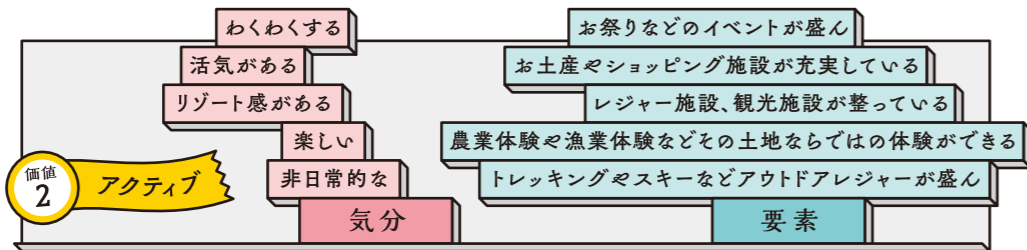
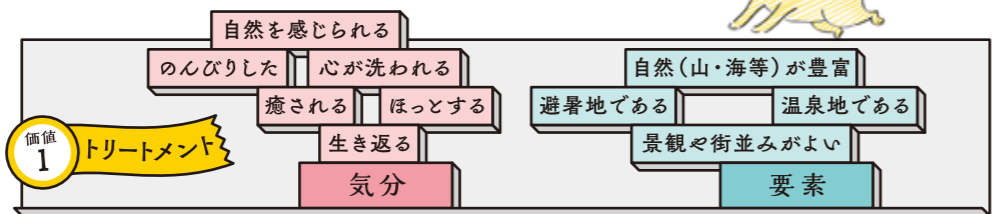
※2016年12月霧島市民130人インターネット調査より

### 旅先としての価値の分析

旅先としての霧島市の人気はどうすれば上がるのだろうか？

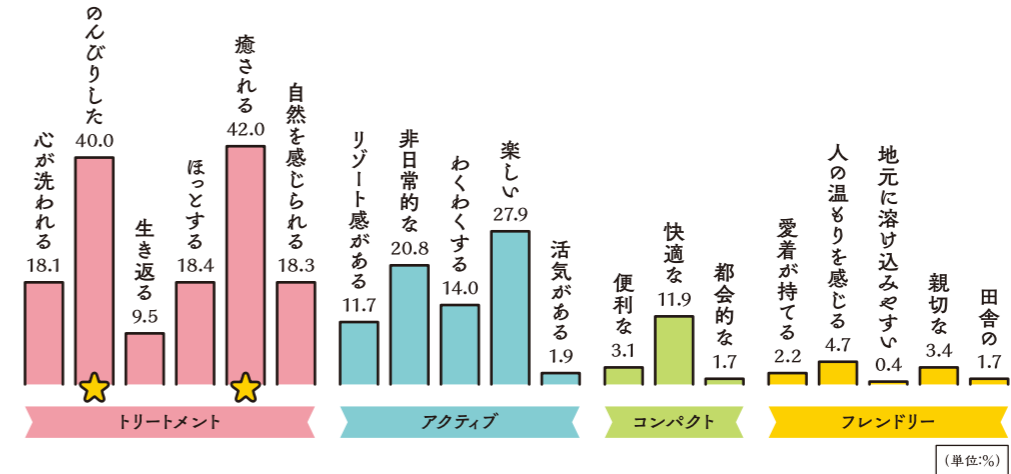
どのような価値を磨くと訪れたい気持ちがUPするのだろうか？

その方向性を導くために、旅先として訪問してみたい価値を5つに分けて分析を試みました。



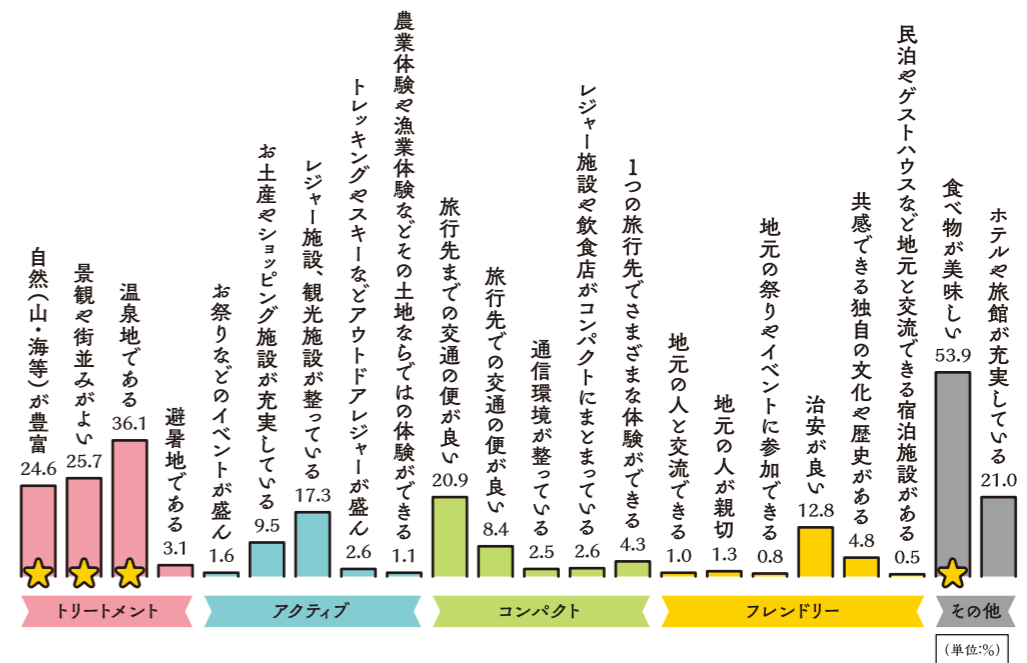
### 旅行先に特に求める気分の分析結果は？

トリートメント要素の「癒される」「のんびりした」が2トップ



### 旅行先に特に求めるイメージは？

1位の「食べ物の美味しさ」に続き、トリートメント要素の「温泉」、「自然(山・海等)が豊富」、「景観や街並みの良さ」が上位を占めました。



つまり、旅行先に求められる方向性は、「トリートメント要素」+「食の美味しさ」なんです。食の美味しさも、体を癒すという事を考えるとトリートメント要素に入れて良いですね。

※データは2016年12月関東・関西・福岡市・鹿児島市在住2000人インターネット調査より

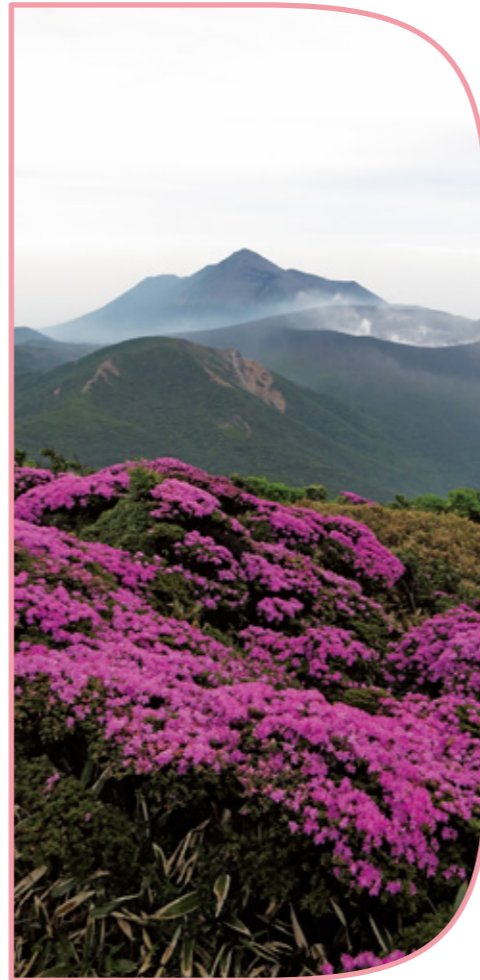
### 旅先としての価値の分析

さらに、「霧島市の具体的な魅力」を提示し、その魅力度を聞いてみると4つの具体的な強みが把握できました。



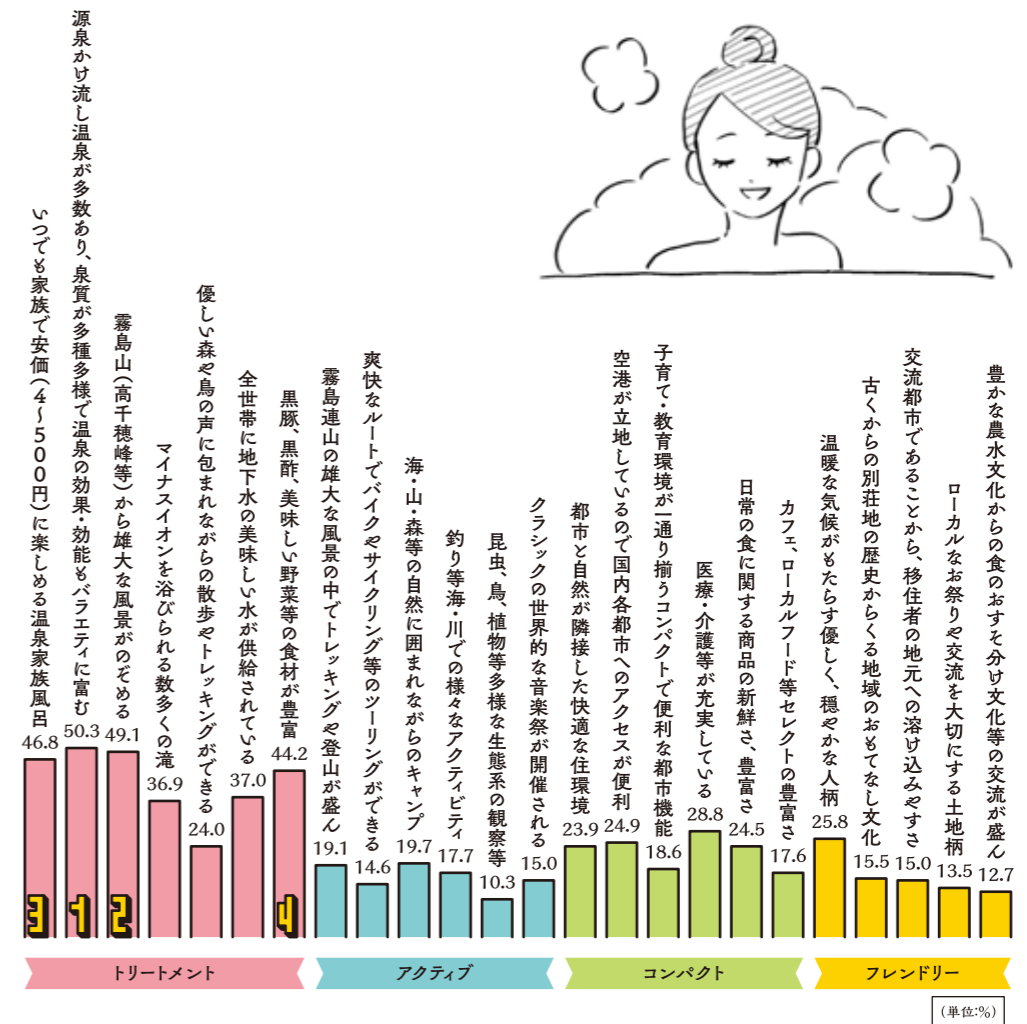
- 1位** 源泉かけ流し温泉が多数あり、泉質が多種多様で温泉の効果・効能もバラエティに富む
- 2位** 霧島山(高千穂峰等)から雄大な風景がのぞめる
- 3位** いつでも家族で安価(4~500円)に楽しめる温泉家族風呂
- 4位** 黒豚、黒酢、美味しい野菜等の食材が豊富

※データは2016年12月関東・関西・福岡市・鹿児島市在住2000人インターネット調査より



### 霧島市の魅力評価

※データは2016年12月関東・関西・福岡市・鹿児島市在住2000人インターネット調査より



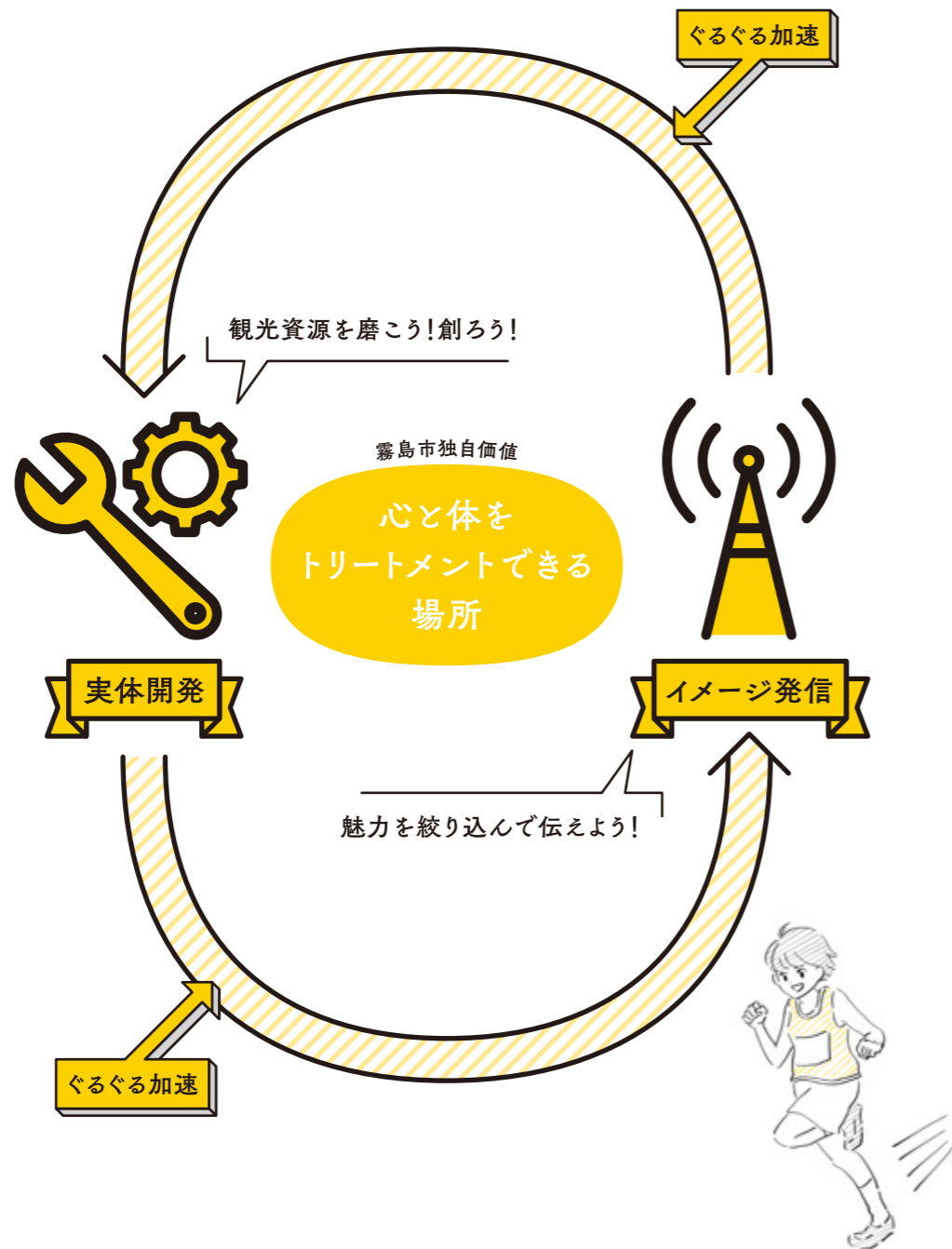
霧島市のトリートメント要素は評価が高く、この霧島市の魅力を提示すると、霧島市での希望宿泊日数も大きくジャンプアップするのが分かりました！霧島市の魅力をのんびり味わっていただくために、日帰りを1泊に、1泊を2泊に、2泊をより長くする色々な工夫やPRが望めます。



※データは2016年12月関東・関西・福岡市・鹿児島市在住2000人インターネット調査より

# 霧島観光勝利の方程式はこれだ!

霧島市の価値ある独自性は、  
 「心と体をトリートメントできる場所」であること。  
 これは市民の誇りでもあり、外の人々の期待でもある。  
 つまり、市民も市外の人々も両方がうれしい!こと。  
 だから、一度、動きはじめれば、どんどん回転が加速していきます。



例えば、都会で心身ともに疲れた人へ こんな旅どうですか?



**STEP 1 降り立つ** **山に抱かれ、湯に抱かれよう**  
 飛行機に飛び乗り、鹿児島空港へ。そこがもう霧島です(鹿児島空港は霧島市)。降りてレンタカーを借り、10分も行けば早くもひとつめの温泉郷に出会えます。ちなみに空港にも足湯がありますよ。

**STEP 2 山に登る**  
 でも、まずは山に登りましょう。山に抱かれることで土地と自分の波長が合うようになります。おすすめは大浪池(おおなみのいけ)が高千穂峰。山頂から見下ろせば、途端に気持ちのチャンネルが変わります。

**STEP 3 湯に浸かる**  
 山から降りていく途中にいくつもの温泉郷があります。標高の高いエリアは白濁した硫黄泉に出会うことが多く、低いエリアは、無色透明で、肌がすべすべと滑らかになる炭酸水素塩泉が増えていきます。

**STEP 4 滋養の深い食を楽しむ**  
 霧島と言えば、まず地鶏料理。焼きもよし、刺し身もよし。焼くときは溶岩プレート。刺し身のときは甘い醤油か、それとも黒酢仕立てのタレか。飲み物は、酒好きは焼酎のお湯割り。下戸なら、霧島茶を楽しんで。

**STEP 5 ステイする**  
 霧島の旅のスタイルのルーツは、西郷どんや坂本龍馬です。ふたりとも傷ついた体を癒やすためにしばらくの間“湯治”しました。できれば長めに宿に滞在して、回復に努めましょう。

**STEP 6 しばらく土地に抱かれる**  
 この土地で遊ぶことのすべてが心と体のトリートメントです。自転車を借りてサイクリングするもよし。川や森林のツアーに参加するもよし。釣りも川と海と、両方できます。桜島を眺めつつ錦江湾で竿を垂れるものんびりできます。

**STEP 7 そして街に戻る**  
 数日間か1週間か、しばらく霧島に抱かれたあなたは都市に戻ってもまた元気になって働くことができます。それでまた疲れたら? 再び霧島に来ればいいんです。アクセスが良いのですから。

- 宿施設&キャンプ場のみなさま → 2日以上ロングステイをしたくなる宿を考えてみてください。
- アクティビティを提供するみなさま → もっと霧島市に滞在したくなるサービスありますか?  
みなさま よろしくお願いたします。
- 飲食業のみなさま → 霧島市の食材を使ったメニュー開発お願いできますか?  
 2日目、3日目のランチは何が良いでしょうか?

**参考データ** ロングステイしたくなる5大要素

- 心がリフレッシュできる場所があること
- 体がリフレッシュできる場所があること
- 宿泊施設の充実
- 連泊をすると安く泊まれるサービス
- 地元の食材を楽しめる飲食店

※データは2016年12月関東・関西・福岡市・鹿児島市在住2000人インターネット調査より

市民のみなさまによる観光資源の実体開発やイメージ発信が成功すると、霧島市にロングステイしてくれる人が増えていきます。だから、効果測定の指標は、霧島市への訪問者の滞在日数の推移を見ていくのが一番良いと思います。